



2018-2020年度中期経営計画 GPS2020



2018-2020年度中期経営計画 GPS2020

東京ガスグループは、2011年11月に、長期経営ビジョン「エネルギーと未来のために東京ガスグループがめざすこと。～チャレンジ2020ビジョン～」を発表しました。これまでのホップ期(2012-14年度)、ステップ期(2015-17年度)では、総合エネルギー・グローバル企業を目指し、事業領域・エリアを大幅に拡大して7つの事業ドメインを確立するとともに、新たなグループフォーメーションを構築しました。ジャンプ期(2018-20年度)は、ビジョンの集大成として、引き続き非連続の改革(これまでにない大胆な事業変革・抜本的な組織構造改革)を進めつつ、「できること」として具体的に新たな価値=東京ガスグループならではの“GPS×G”を展開し、2020年代の発展・飛躍を確実なものとしていきます。

当社が考える
これからの時代



1 天然ガスの時代

安定性、経済性、環境性に優れた天然ガスは、世界・日本において、ますますその存在を高めています

その利用分野・エリアはさらに拡大し、地球規模でのダイナミックな展開が期待されます



2 電気とガスは1つ

これまでの日本では、電気は電力会社、ガスはガス会社からしか購入できませんでしたが、小売全面自由化により、ガス・電力とも、1つの会社から購入できるようになりました

今後は、ガスと電気を組み合わせた最適なエネルギーシステムの提案および導入が可能になります



3 デジタル化の進化がもたらす 異次元イノベーション

IoT、AI等のデジタル技術の急激な進化が、暮らしや産業に大きなインパクトを与え、従来とは全く異なるイノベーションをもたらすことが見込まれています

こうした変化に十分留意した経営を推進します

「めざすこと」
から
「できること」へ

引き続き「非連続の改革」(大胆な事業変革、抜本的な組織構造改革)を進めつつ、「できること」として具体的に新たな価値を創造=東京ガスグループならではの“GPS×G”を展開し、2020年代の発展・飛躍を確実なものにしていきます

GPS
総合エネルギー

GPS × **G**
GAS & POWER
+ SERVICE × GLOBAL

G
グローバル

ガスと電気をセットにした
最適なエネルギーをお届けします

ご家庭のお客さま一人ひとりの
ライフステージやリクエストに応じた
生活まわりのサービスをワンストップでお届けします

業務用・工業用のお客さまの
ビジネスニーズに対応した、エネルギーサービスや
エンジニアリングをお届けし、省エネ・省コストを実現します

戦略エリアに拠点を配置し、
経営資源を集中させて案件に参画していきます

急速な経済成長のなか、
エネルギーの需給構造が変化しつつある
東南アジア等の国々において、各国政府・企業とも連携して
エネルギーインフラの構築に貢献していきます

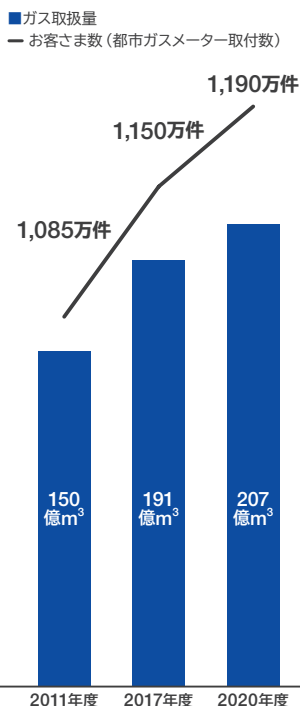
自由化やエネルギーの市場取引が
進んでいる北米等では今後の国内外の
事業に資するノウハウを獲得・活用しつつ、
収益基盤を確立していきます

目指す姿

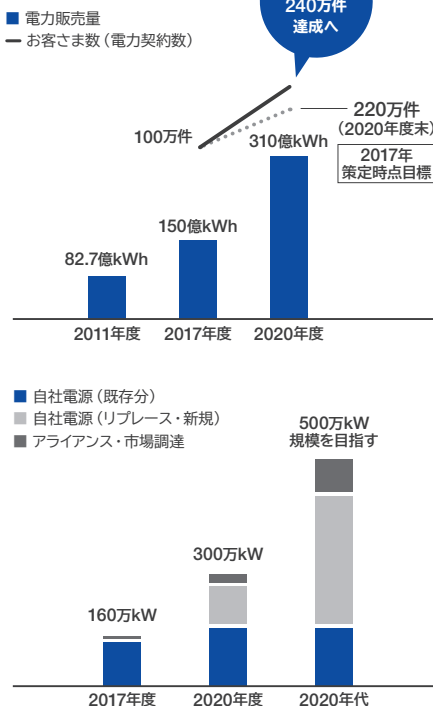
2019年度、将来を見据えた東京ガスグループの「目指す姿」を策定します。
「次なる半世紀」を切り拓くためにも、環境変化をチャンスと捉え、
さまざまなチャレンジを通じて新たな価値を創り出していきます。



ガス



電気



サービス

ガスと電気のセットに、お客さまの暮らしやビジネスニーズに合った「サービス」を組み合わせ、最適な提案をお届けします。

- ガス機器、ガス設備を含む生活まわりのサービス
- エンジニアリングサービス
- 地域開発サービス (不動産)

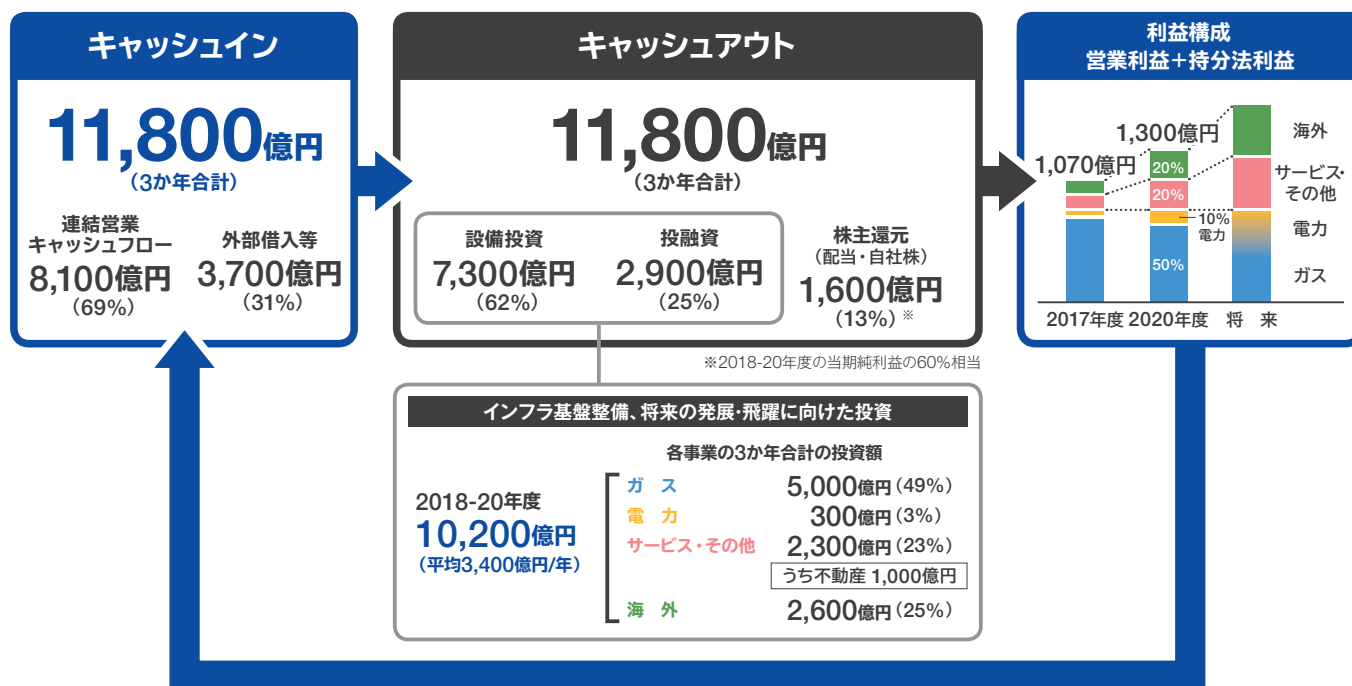


グローバル

LNGバリューチェーンの経験を生かして、エリア特性に応じた事業を深化・拡大

- 北米** 上中下流事業への参画により、ノウハウ獲得および収益基盤を強化
- 東南アジア** 成長が期待されるエリア。中下流事業への取組みを推進
- 豪州** 上流中心に既存案件の価値の最大化を図る

2018-20年度のキャッシュインの配分方法



	連結営業キャッシュ・フロー	収益性 (ROE)	株主還元 (総分配性向)	健全性 (D/Eレシオ)
2017年度	2,440億円	5.5%	60%	0.71
2020年度	2,800億円	8%程度	60%	0.9程度

※2017年度数値および2011年度ガス取扱量は計画策定時の見直し値